

『資源利用効率の向上』の取り組みについて

社用車へのFCEV、PHV、HV、EV車への乗換

製鋼事業所 機械課にて、トヨタバッテリーフォークリフト2.0tが9月28日(水)に導入されました。

EV化への決め手は、コスト面もさることながら、やはりCO₂排出量を削減出来る点!

既存のガソリン車と、導入するバッテリーフォークリフトとの比較は、下の通りです。また、今回は特別なアタッチメントも購入し、クレーンに用いられる『ドラムの反転』作業をリフトが行うことにより、作業者の危険源の低減!

さらに、リフトの速度見える化として『タイヤへのマーク』や、リフトの後進時に進入禁止範囲を示す『セーフティLEDレーザー』も設置。

これらの導入に関しては、安全環境BCP推進部からの提案も反映されており、大型設備投資の承認の一助ともなっています。

『資源利用効率の向上』の取り組みについては、CO₂排出を減らすだけでなく、コスト削減、今回は危険源の低減にも繋がりました。



年間ランニングコスト面

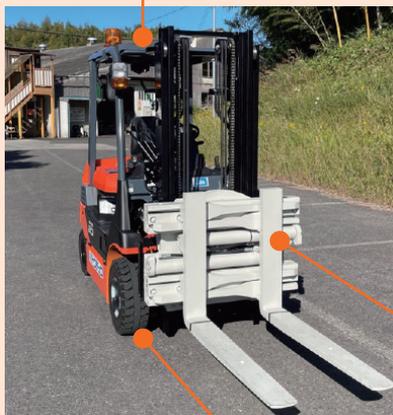
▲672千円の削減

※1日5時間×240日 ガソリン 160円/l
電気 25円/1h(時間3.2KW消費にて換算)

年間CO₂排出量削減面

▲9tの削減

※ガソリンの原単位2.322tCO₂/kl
電気の原単位0.000433tCO₂/kwhを使用し
て換算



セーフティLEDレーザー



タイヤへのマーク



ドラム反転アタッチメント